

0. 講義をはじめるにあたっての注意

講義の時間帯：月曜日 2 時限（10:20～11:50）

場所：中講義室 1

▽講義担当者の予定

10/01	辻原（ガイダンス）
10/15, 10/22	李先生（居住空間合成構造学担当）
10/29, 11/05, 11/12	辻原（地域環境調整工学担当）
11/19, 11/26, 12/03	細井先生（環境設備システム学担当）
12/10, 12/17, 01/21	北原先生（居住空間構造学担当）
1/28	予備日

注1）上記の担当者と日程は、予定です。変更になる可能性もありますので、注意してください。

注2）この科目はオムニバス形式で行われます。それぞれの教員ごとに行った評価を集計したものが最終評価になると思われまますので、履修の際には十分注意してください。試験の実施時期やレポートの提出や成績の評価については、各教員の指示に従ってください。

1. 居住環境とは？

居住環境＝私たちの意識や行動に何らかの作用を及ぼすと同時に，私たちの意識や行動によって何らかの作用を及ぼされている，_____や私たちの_____をとりまく_____のこと。

私たちを取り巻く環境

┌—社会環境＝_____と_____の_____作用（人間の気持ち，心理，意識など）

└—物理的環境＝人間と_____との相互作用（(____)____，____(+____)，
| _____，_____など）

└—└_____環境

└—└人間が手を加えた_____環境

※構築環境：自然環境に人為的な造成を加えて作り出された環境。

┌—_____スケールの違い（身体のまわり，部屋，住まい，町内，都市，地域・・・）

| ※特に住まいの内部（_____環境）と住まいの外部（_____環境）に区別する
| ことが多い。

└—_____レンジの違い（ある瞬間，1日，1週間，1年，数年，生涯・・・）

※連続的で均質な等間隔目盛りの_____な時間の概念と私たちの感じる

（_____する）時間の概念は異なる。

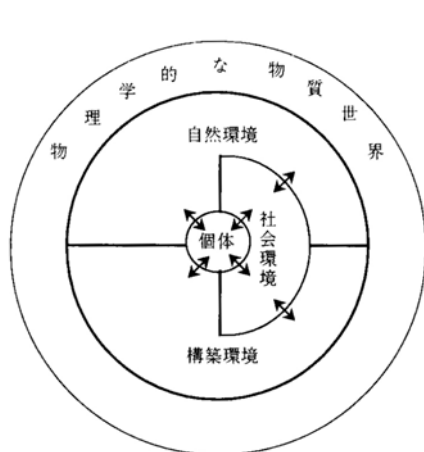


図1 環境の概念図

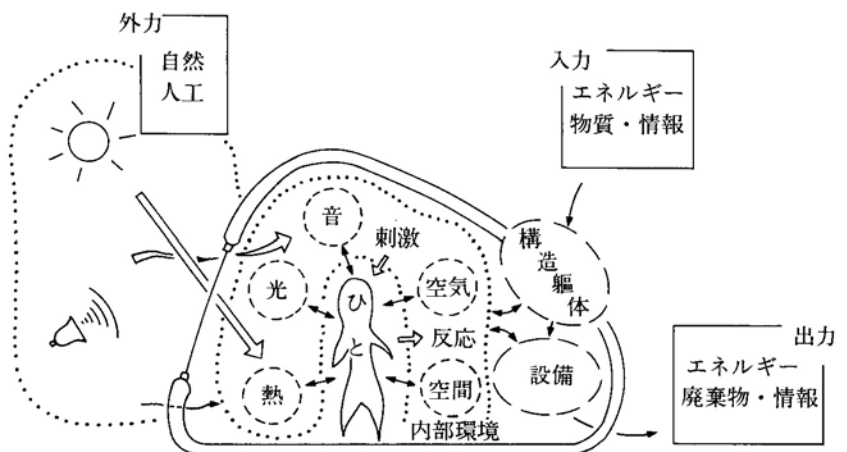
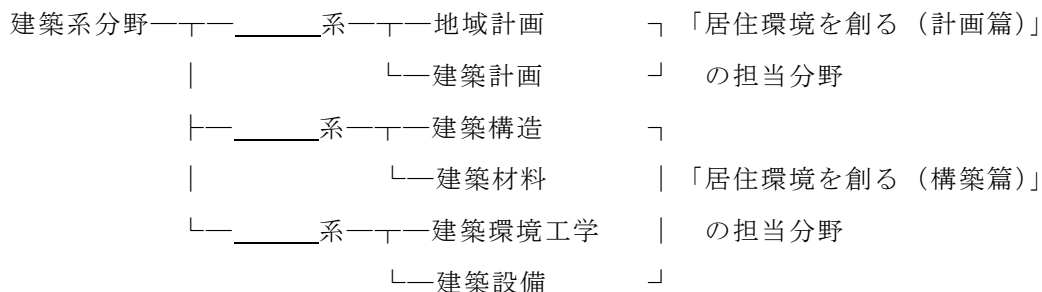


図2 住まいを中心とする環境と人間の相互作用

2. よりよい居住環境を創るために

建築系分野の枠組み



居住環境学

われわれをとりまく周囲の環境の

- 1) _____性（→構造系）
- 2) _____性， _____性， _____性（→環境系， 計画系）
- 3) _____（→計画系）

を実現しようとする学問体系。

◇ われわれを取り巻く環境は，本当に良い環境なのか？

「現状の環境に満足している」＝「現状の環境は良い」と言っても良いのか？

良い環境を知らないから，現状に満足しているだけなのかもしれないのではないか？

付録（レポート・論文の書き方）

レポートは、人に読んでもらうためのものです。従って、自分で何を書いているのかわからないようなレポートは提出しないでください。レポートには必ず読み手がいます。レポートの評価を行うのは、読み手です。書き手が評価を行うものではありません。

まず、第一に、読み手に理解してもらえるように、わかるように、書くことを心がけてください。

→さらに一歩踏み込んで、読み手を納得させるためには、どのようなレポートを書けばいいのか、を考えてレポートを作成するように心がけて下さい。

熊本県立大学附属図書館（<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~tosho/index-j.html>）の『図書館資料検索』で、「論文作法」をキーワードとして検索すると、論文やレポートを書く際に参考となる様々な本がでてきますので、参考にしてください。

熊本県立大学附属図書館に所蔵されている本や辻原の知っている範囲では、例えば、以下のような本を、読んでみては如何でしょうか。

【入門編-学生生活の基本と共に】

- 1) 『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ』（学習技術研究会編著，くろしお出版，2002年4月，1,900円＋税，ISBN：4-87424-247-2）〔開架2，377.15||G 16, 0000261688〕
→改訂版あり（2006年10月，1,800円＋税，ISBN：4-87424-355-X）。〔英語8，377.15||G 16, 0000305298〕
- 2) 『広げる知の世界 大学でのまなびのレッスン』（北尾謙治ほか，ひつじ書房，2005年5月，1,600円＋税，ISBN：4-89476-242-0）〔開架2，377.15||Ki 71, 0000293704〕
- 3) 『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』（松本茂・河野哲也，玉川大学出版部，2007年3月，1,400円＋税，ISBN：4-472-40343-9）〔所蔵なし〕
- 4) 『情報と知識の海-現代を航海するための 知のナビゲーター』（中澤務・森貴史・本村康哲編，くろしお出版，2007年4月，1,800円＋税，ISBN：4-87424-372-5）〔所蔵なし〕

【基礎編-1年生からのレポート作成のために】

- 5) 『講談社現代新書 1603 大学生のためのレポート・論文術』（小笠原喜康，講談社，2002年4月，680円＋税，ISBN：4-06-149603-4）〔文庫本，080||49||1603, 0000259322〕
- 6) 『講談社現代新書 1677 インターネット完全活用編大学生のためのレポート・論文術』（小笠原喜康，講談社，2003年8月，720円＋税，ISBN：4-06-149677-8）〔文庫本，080||49||1677, 0000273985〕

- 7) 『レポート・論文・プレゼン スキルズ レポート・論文執筆の基礎とプレゼンテーション』（石坂春秋，くろしお出版，2003年3月，1,400円＋税，ISBN：4-87424-273-1）〔3 F和，816.5，9000006625〕
- 8) 『Wordを使った 大学生のための論文作成術 思考技術・情報処理技術を書く力へ』（佐良木昌，明石書店，2004年10月，1,600円＋税，ISBN:4-7503-1983-X）〔3 F和，816.5||Sa 69，0000290926〕
- 9) 『レポート・論文の書き方入門 [第3版]』（河野哲也，慶應義塾大学出版会，2002年12月，1,000円＋税，ISBN：4-7664-0969-8）〔3 F和，816.5||Ko 76，0000285910〕
→初版（1997年発行）は〔書庫，816.5，9000002010〕
改訂版（1998年発行）は〔3 F和，816.5||Ko 76，0000222982〕，〔書庫，816.5||Ko 76，0000252694〕

【応用編-4年生での卒業論文も視野入れて】

- 10) 『平凡社新書 103 ぎりぎり合格への論文マニュアル』（山内志朗，平凡社，2001年9月，700円＋税，ISBN：4-582-85103-7）〔文庫本，080||H 51||103，0000275301〕，〔書庫，080||H 51||103，0000270456〕
- 11) 『NHK ブックス 954 論文の教室 レポートから卒論まで』（戸田山和久，日本放送出版協会，2002年11月，1,120円＋税，ISBN:4-14-001954-9）〔文庫本，080||Nh 2||954，0000276644〕
- 12) 『これで安心「卒論」ラクラク基本マニュアル 卒論応援団 2』（澁谷恵宜，クラブハウス，2000年7月，¥1,980円＋税，ISBN:4-906496-24-5）〔3 F和，816.5||Sh 23，0000275899〕，〔書庫，816.5||Sh 23，0000241701〕，〔書庫，816.5||Sh 23，0000270566〕
- 13) 『大学生と大学院生のための レポート・論文の書き方』（吉田健正，ナカニシヤ出版，1997年5月，1,500円＋税，ISBN：4-88848-378-7）〔3 F和，816.5||Y 86，0000263004〕
- 14) 『これからレポート・卒論を書く若者のために』（酒井聡樹，共立出版，2007年5月，1,800円＋税，ISBN：4-320-00574-7）〔所蔵なし〕
- 15) 『学生・院生のための研究ハンドブック』（田代菊雄，大学教育出版，2001年5月，1,500円＋税，ISBN：4-88730-437-4）〔開架2，002.7||Ta 93，0000271825〕

上記の全てに目を通す必要は全くありませんが，気に入ったものを1冊くらい手元に置いておくとよいと思います。

その他にも，いろいろな本がありますので，大学の売店（丸善）や下記の本屋などで探してみてください。

1) 紀伊國屋書店熊本光の森店

〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森 7-33-1 ゆめタウン光の森内 2F

電話：096-233-1700 FAX：096-233-1701

営業時間：10:00～22:00

<http://www.kinokuniya.co.jp/04f/d03/kumamoto/02.htm>

2) リブロ熊本店

〒860-0805 熊本市桜町 3-22 くまもと阪神 6F

電話：096-211-9033 FAX：不明

営業時間：10:00～19:30

<http://www.libro.jp/web/shoplist/kumamoto.html>

3) 喜久屋書店熊本店

〒860-0807 熊本市下通 1-3-10 ダイエー熊本下通店 6F

電話：096-319-8581 FAX：096-319-8583

営業時間：10:00～21:00

<http://www.blg.co.jp/kikuya/zip.htm#kumamoto>

4) 蔦屋書店熊本三年坂

〒860-0801 熊本市安政町 1-2 カリーノ下通 1F～2F

電話：096-212-9111 FAX：096-212-9890

営業時間：10:00～深夜 1:00（金・土のみ～深夜 4:00）

<http://www.tsutaya.co.jp/shop/tenpo.zhtml?FCID=8000>

また、下記のホームページなどが参考になるかもしれません（多くが、卒業論文を書く人向けですが）。その他に、自分でも、「レポート」、「書き方」などのキーワードで検索してみてください。

<http://frds.itakura.toyo.ac.jp/~takeuchi/general/ronbun.htm>

http://www.ceser.hyogo-u.ac.jp/naritas/write_paper/paper.html

<http://lapin.ic.h.kyoto-u.ac.jp/thesis.html>

<http://www.nanzan-u.ac.jp/~urakami/class.html>

<http://www.logicalskill.co.jp/>

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~shogo/informationliteracy/index.html>

<http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/physics/classes/reporting/wreport.html>

<http://www.mycon10ts.com/top.htm>

http://www.geocities.jp/chigasaki_rihabilitation/report.html

http://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~minobe/class/how2write_1.htm